

## 皇室の伝統に基づく安定的皇位継承に係る国会論議促進を求める意見書

悠仁親王殿下におかれては、令和7年9月に成年式を迎えられ、「加冠の儀」をはじめとする一連の諸儀式及び諸行事が滞りなく執り行われたことは、誠に慶賀の至りである。

悠仁親王殿下は皇位継承順位第2位であり、将来、皇位を継承されることが見込まれている。しかしながら、現行の皇室制度のままでは、将来的に殿下をお支えし、皇室の役割を担う皇族が不足する事態も懸念せざるを得ない状況にある。

安定的な皇位継承の確保に関する政府の報告書が国会に提出されてから、既に4年が経過している。国においては、将来にわたり皇位継承の安定化と皇族数の確保が図られるよう、立法府の総意に基づき、国会における議論を慎重かつ早急に進めるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月15日

秋田県議会議長 工藤嘉範

衆議院議長 森英介様  
参議院議長 関口昌一様  
内閣総理大臣 高市早苗様  
内閣官房長官 木原稔様